

スポーツの価値を基盤とした授業づくりワークショップ (スポーツ庁委託事業)

開催日：2015年12月26日（土）10：30～16：30

会場：三菱総合研究所 4階大会議室（東京都千代田区永田町 2-10-3）

主催：スポーツ庁、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

協力：九州体育・保健体育ネットワーク研究会

公益財団法人第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会

<目的>

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議（中間まとめ）の報告をはじめ、昨今、IOC、IPC、UNESCO、WADA（世界アンチ・ドーピング機構）などの国際的なスポーツ、教育機関からも「スポーツの価値」に基づいた教育の重要性が強調されています。また、我が国の高等学校学習指導要領には、平成25年度よりスポーツの価値という視点からの「ドーピング/アンチ・ドーピング」の項目が明記され、スポーツの価値に基づいた教育の実践について、世界からも注目を集めています。

本ワークショップでは、スポーツの価値を基盤とした授業を実施している先生からの実践例を共有頂くと共に、グループワークを通して、学校教育におけるスポーツの価値を基盤とした授業の多様な展開の可能性と、参加頂いた先生方にご自身のフィールドで実践につなげて頂けるよう具体的な授業の展開および指導教材について検討します。さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックを通して、学習指導要領と共に日本の強みとして、学校教育におけるスポーツの価値を基盤とした具体的な授業づくりを世界に対して発信する予定です。

<プログラム（予定）>

司会：堀さやか（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 国際企画グループ）

展示：北海道札幌平岸高等学校制作物

10:00	受付開始（B1 階ロビー）
10:30-10:35	開会挨拶 - 猪股康博（スポーツ庁 国際課課長補佐）
10:35-11:10	スポーツの価値を基盤とした授業を通して目指すもの - 佐藤豊（国立大学法人鹿屋体育大学 教授） - 山本真由美 （公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 国際企画グループ）
11:10-12:20	スポーツの価値を基盤とした授業の実践例と連携 - 佐藤若（山形県立山形中央高等学校 教諭） - 池田吉利（北海道札幌平岸高等学校 教諭） - 佐々木徹也 （公益財団法人第 8 回札幌アジア冬季競技大会組織委員会 競技部） - 遠藤章二（福岡県立北九州高等学校 教諭） - 大坪元気（福岡県三井高校 教諭）
12:20-13:20	休憩（※昼食は、ご持参ください）
13:20-16:00	授業づくりグループワークおよびプレゼンテーション 13:20-13:35 グループワーク説明 13:35-15:30 グループワーク（※適宜休憩） 15:00-15:50 プレゼンテーション・意見交換
15:50-16:05	講評 - 佐藤豊（国立大学法人鹿屋体育大学 教授）
16:05-16:15	指導案・事例集「スポーツの価値を基盤とした授業の“ススメ”」 - 高須久望子 （公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 国際企画グループ）
16:15-16:25	質疑応答
16:25-16:30	閉会挨拶 - 浅川伸（公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 専務理事）

※記録のため、ビデオ・写真撮影・録音を行います。予めご了承ください